まとめ

美術館・文学館はどうでしたか？
また、遊びに来てくださいね。ありがとうございました。

美術館・文学館ってどんなところだった？

※ 感想をかいてみよう。

お気に入りの作品を教えてね！

※ 作者名・作品名

気になる作家や作品を見つけたら、ウェブサイトや本でもっと
調べたり、友達に紹介したりしてみましょう。
他のまちの美術館・文学館にも行って、小樽と同じところやちがう
ところ、お気に入りの作品を見つけてみましょう。

市立小樽美術館・市立小樽文学館

〒047-0031 小樽市色内1-9-5

tel.0134-34-0035（美）
tel.0134-32-2388（文）

WELCOME TO OTARU CITY MUSEUM OF ART, OTARU LITERARY MUSEUM

ようこそ 市立小樽美術館・市立小樽文学館へ

SCHOOL	CLASS /	美術館 STAMP	文学館 STAMP
NAME			

この本は、市立小樽美術館と文学館がもっと楽しくなる本です

市立小樽美術館・文学館って
どんなところだろう

これは、皆さんと一緒に
小樽の美術館と文学館について
考えてみる本です

小樽の美術館　文学館には
どんな作品や資料があるのかな？
ワクワク　ドキドキ
すてきな出会いが
あなたを待っています

こんにちは！
美術館・文学館を案内する
山田といいます。どうぞよろしく！

美術館・文学館に行く前に考えよう。

美術館・文学館にいる間、行った後に考えよう。

■ OTARU CITY MUSEUM OF ART / OTARU LITERARY MUSEUM

美術館・文学館ってどんなところ？

市立小樽美術館・市立小樽文学館ってどんなところだろう。
行ったことがある人も、ない人も、考えてみよう！

まず、美術館や文学館に行った事はありますか？

ある　or　ない

わたしが知ってる美術館・文学館は…

※ 知ってる・行ったことがある美術館・文学館を書いてみよう

じゃあ、美術館や文学館ってどんなイメージ？

※ 行ったことがある人も、ない人も書いてみよう

POINT

美術館・文学館のマナーは「4つ」です。
「1.走らない」　「2.さわらない」
「3.大声を出さない」「4.筆記用具は鉛筆で」です！

それでは、まずは建物について紹介します！

■ OTARU CITY MUSEUM OF ART / OTARU LITERARY MUSEUM 外　観

美術館・文学館のスゴイ建築！

作った建築家
小坂秀雄
1912～2000年/東京出身

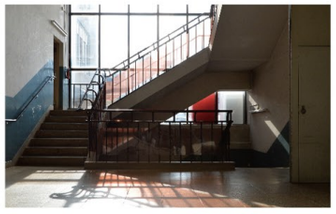
市立小樽美術館・文学館はこの四角い建物！
どんな特徴があるかな？

※ みつけた特徴をかいてみよう！

POINT

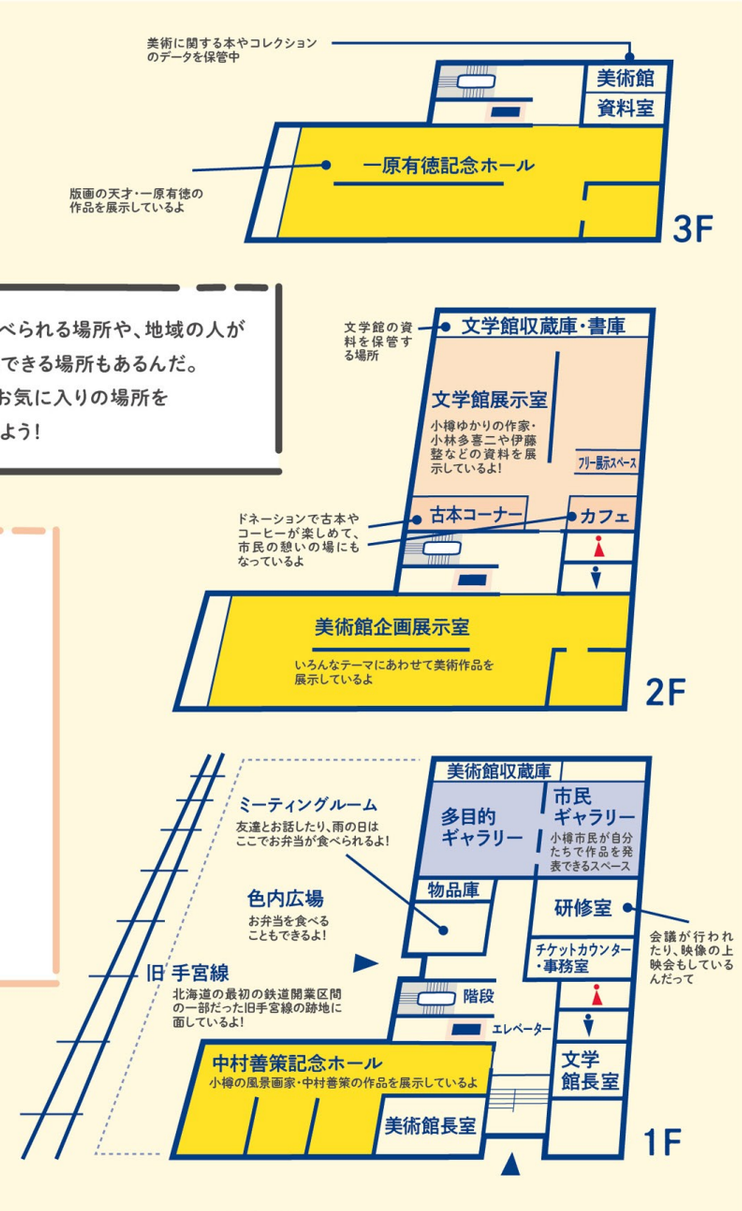
建物の中にはこんな
ステキな場所があるよ。

もともとは郵政省の貯金局の建物！
働いている人が気持ちよく
過ごせることを大切にしたんだ！



お弁当を食べられる場所や、地域の人が
作品を発表できる場所もあるんだ。
キミだけのお気に入りの場所を
みつけてみよう！

※ みつけた！
お気に入りの場所を書いてみよう！



美術館・文学館で何をみたいと思った？

わたしがみてみたいのは…　※ ①②③④から選んで○をつけよう

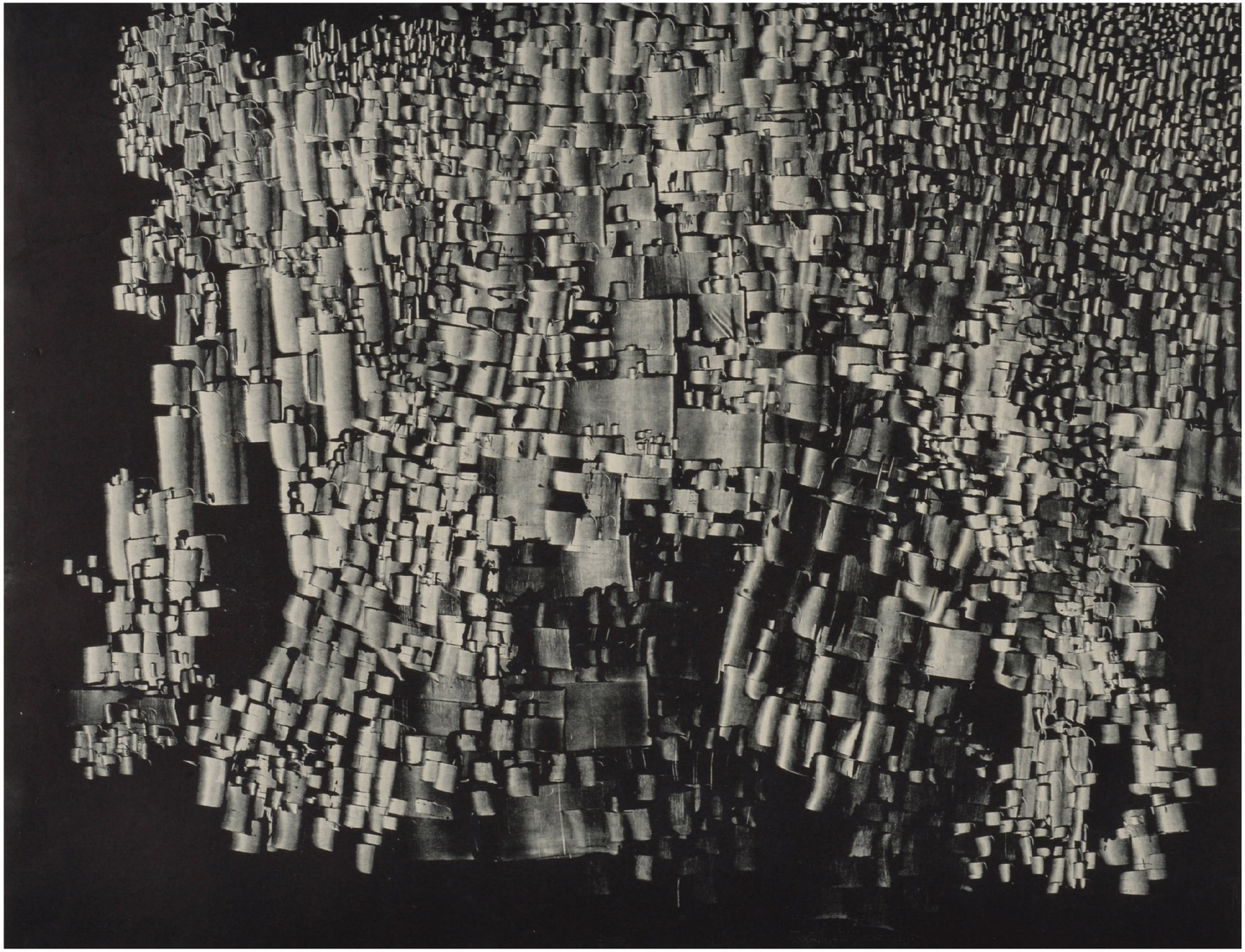
① 一原有徳の版画　　② 中村善策の風景画
③ 小樽美術館の建物　　④ 文学館の展示

美術館・文学館に行く前に考えよう。
美術館・文学館にいる間、行った後に考えよう。

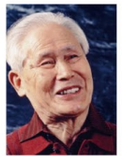
さっそく、美術館・文学館に行ってみましょう！

版画の天才！一原有徳（いちはら ありのり）①

画面いっぱいに現れたふしぎな模様。じっとみていると、何にみえてきますか？
この作品は「モノタイプ」と呼ばれる一原有徳が考え出した版画の技法で作られました。どうやって作ったのか想像してみましょう。



一原有徳 《LLC (a)》 1961年



版画家
一原有徳
1910～2010年
徳島県生まれ小樽育ち

POINT

一原さんは47歳で版画を始め、
50歳で大ブレイク！
コチラの版画は、1961年に制作
されました。

これが版画？

一原さんは、いろんなものを版画に
するのが得意だったんだって

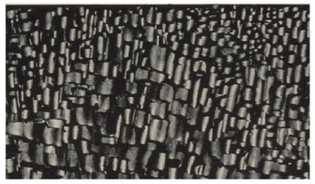
■ OTARU CITY MUSEUM OF ART 美術館

版画の天才！一原有徳（いちはら ありのり）②

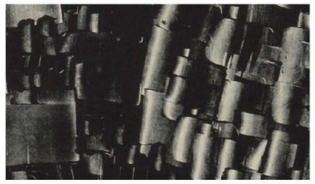
小樽に在住した版画家・一原有徳は、「未知のものを作りたい」と考え、身近にある素材や化学薬品などを使い実験し、新たな版画を見つけ出そうとしました。版画以外にも、登山や俳句などにも熱中した一原の作品からは、作品を作り出すときのわくわくする気持ちが伝わってきます。

一原さんの作品をよくみて見つけてみよう！

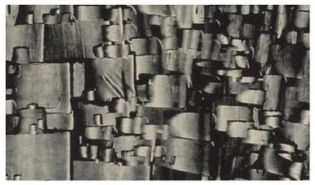
※ 前のページの絵の中に○をつけよう。



★
レベル1
絵の右側を
よーく見てみよう。



★★
レベル2
ちょっと難しいね



★★★
レベル3
なかなか難しいよ。
わかるかな？

この作品どうやって作ったと思う？
ヒントは、これ、何かに似てない？

わかった！カレーライスを食べ終わったあとのお皿に似てる！
なんちゃって！

いいところに気が付いたね！

※ ①②③から選んで○をつけよう

① 紙の上でインクのついた乾電池をころがした。
② 彫刻刀でひたすら木をこまかくけずった。
③ インクのついた板にへらであとをつけて紙に写しとった。

POINT

一原さんの作品、他にはこんなのもあるよ。

小樽美術館には、一原さんの作品が1000点以上あります。

▶《UIR》1976年
金属を錆（さ）びさせたり腐らせたりしたものにインクを塗って紙に刷り取る「腐蝕版（ふしょくはん）」という技法で作られた作品。金属と薬品の組み合わせや、腐蝕させる時間や回数によって変わる「質感」を紙に写している。

美術館の外でも一原さんの作品を探してみよう。

◀《炎》1984年　（小樽公園内）
小樽公園に設置されているモニュメント作品。作った版を作品にしてしまうこともあった一原さんは、「自然の中にある人工物」という対照的な関係も「版画と似ている」と考えていた。

一原さんは色んなものを版画にしてしまうことから、「版画の鬼才」と呼ばれていたんだ。

学校でやったことがある木版画や紙版画以外にも、
版画には色んな表現方法があるんだね！
他にはどんなものが版画にできるか考えてみようかな。

3階の「一原有徳記念ホール」で確めてみよう！

小樽の風景画家！中村善策（なかむら ぜんさく）①

小樽の風景を愛し、たくさん描いた中村善策。
明るい色使いやいきいきとした構図は、実物とそっくりではないのに、その場所に行ったような気持ちになります。
善策は、実際の風景を目の前に見ながら描く事を大切にしていました。

中村善策 《風景》 1960年

画家
中村善策
1901～1983年
小樽生まれ

すごく小樽らしい風景だね！
なんでそう感じるんだろう？

POINT

善策さんは小樽の風景を描くのが大好きだったんだ！
この作品は、1960年に描かれたんだよ。

まずはじっくり見てみよう！

小樽の風景画家！中村善策（なかむら ぜんさく）②

絵の中では、どんなことが起こっているかな？　友達と話しあってみましょう。
友達の意見を聞くと、作品の感じ方や見方が広がっていくことがあります。まずは、あなた自身が感じたことを、言葉にしてみましょう。

絵画のなかの謎をときあかせ！

前のページのこの絵について話し合ってみよう。

※ 絵の中に隠されたヒントに○をつけたりしながら、
みんなで自由に考えてみよう。

★この絵の季節はいつだと思う？

★時間は何時くらいかな？

★なぜこの場所を描こうと思ったのかな？

★この絵からはどんな音が聞こえてきそうかな？

★この絵を描いているとき、善策さんはどんなことを考えていたかな？

★そのほかにもこの絵のなかで気になったところはある？

POINT

善策さんは英語が得意で、若い頃は海運会社や税関に勤めながら、「早く本格的な絵の勉強がしたい」と上京の資金を貯めたんだ。
家出同然で上京したときの移動時間は小樽から上野（東京）まで23時間！

自由に考えていいの？じゃあ、えっと・・・

話し合いをしてみてから、君だけのオリジナルのタイトルを想像して考えてみよう！

※ 考えたタイトルを書こう

POINT

善策さんの作品、他にはこんなのもあるよ。

善策さんは「同じ場所に坐（すわ）っても、新たな感激に打ちふるえている」と言い、海や空をさまざまな表情で描きました。

▶《赤岩朝陽》1963年
小樽市民会館の大ホールの緞帳（どんちょう）になっている作品。たくさんの色を使って朝陽のきらめきをあらわしている。どんな色が使われているか探してみよう。

美術館では、実際の絵の前で話しあってみよう！
最初のイメージと変わるところもあるかも？

※ イメージと変わったところを書こう

■ OTARU LITERARY MUSEUM 文学館

さすらいの歌人！ 石川啄木（いしかわ たくぼく）

明治時代の代表的な歌人・石川啄木は、21歳で故郷の 岩手県渋民村を離れ、新たな人生を探し求めて、約1年間、北海道の函館・札幌・小樽・釧路をめぐりました。
小樽に滞在したのは115日間。その時の事を題材にした 歌が、彼の歌集『一握（いちあく）の砂』に22首入っています。

次は、2階の文学館に行ってみましょう。

ここでバトンタッチ！

文学館の学芸員です。よろしくお願いします。

POINT

歌人
石川啄木
1886～1912年
岩手県生まれ
写真は北海道放浪時代

啄木は、その頃小樽に出来たばかりの新聞社〈小樽日報社〉で、新聞記者として活躍するために小樽にやって来たんだよ。

小樽には、啄木の歌碑（かひ）が3つもあるんだよ！

（小樽公園内歌碑）
小樽で最初の啄木歌碑。この「こころよく…」の歌は知っている人も多い、啄木の代表歌の一つ！

（水天宮境内歌碑）
「かなしきは小樽の町よ…」小樽を詠んだ歌の中で一番有名なのがこれ。

（小樽駅　三角市場前）
この「停車場」の歌は、妻を小樽に置いて釧路へ行く時の別れを詠んだ歌なんだよ。

どうしてそんなにあるの？

啄木は明治時代の、もっとも有名な来道（らいどう）歌人だからさ。

（小樽公園内歌碑）
こころよく
我にはたらく仕事あれ
それを仕遂（しと）とげて死なむと思ふ

（水天宮境内歌碑）
かなしきは小樽の町よ
歌ふことなき人人（ひとびと）の
声の荒さよ

（小樽駅　三角市場前）
子を負（お）ひて
雪の吹き入る停車場（ていしゃば）に
われ見送りし妻の眉かな

上が、それぞれの歌碑にきざまれた短歌なんだよ。
啄木は小樽にどんなイメージを持っていのたかな？

のようなイメージ

※ 上の短歌の中でイメージが表れている部分に○をつけよう！

啄木が小樽でどんな日々をすごしたのか、
文学館で調べてみてね！

「文学館」で確めてみよう！

革命の作家！小林多喜二

小林多喜二は、大正時代から昭和初期にかけて流行した プロレタリア文学の代表的作家です。多喜二は、貧困と重労働に苦しみ、声を上げようとしてもしいたげられる労働者の現実を小説「蟹工船」などに描き、社会をどう変革してゆくべきかを世の人々に問いかけました。

碑のデザインをてがけたのは、札幌生まれの彫刻家・本郷新。左側の、窓のようにくりぬかれた空間からのぞいているのはたくましい青年労働者の顔で、その上に刻み込まれているのは、北極星と北斗七星だよ。

右側上部のレリーフが、小林多喜二の顔なんだ。

冬が近くなると ぼくはその
なつかしい国のことを考えて
深い感動に捉えられている
そこには運河と倉庫と税関と
桟橋がある そこでは 人は
重つ苦しい空の下を どれも背を
まげて歩いている ぼくは何処を
歩いていようが どの人をも
知っている 赤い断層を処々に
見せている階段のように山に
せり上っている街を ぼくはどん
なに愛しているか分らない

碑面には、多喜二が書いた手紙文の一部がはめ込まれているよ。

本みたいな形だね。これも記念碑？

これは小林多喜二の文学碑だよ。
小樽の旭展望台という高台の上にあるんだ。

POINT

作家
小林多喜二
1903 ～1933年
秋田県生まれ小樽育ち
写真は小樽市若竹町の自宅にて

多喜二が労働者のための文学を書き始めたのは、北海道拓殖銀行小樽支店に勤めていた20代の頃。初期の代表作「一九二八年三月十五日」「蟹工船」「不在地主」などは小樽で書かれたものだったんだよ。

これが碑に刻まれた文章。
「なつかしい国」は、どこだかわかるよね？
多喜二にとって小樽はどんな故郷だったと思う？

こんな故郷だったんじゃないかな

※ 上の文章の中で小樽への思いが表れている部分に○をつけよう！

これを書いたとき、多喜二は刑務所の中だったんだ。彼がどんな文学を書いたのか、そして彼の人生に何がおこったのかについては、文学館に資料があるよ。

ふるさとを想う！ 伊藤整（いとうせい）

塩谷と小樽を結ぶ通学列車の中で抒情詩集に読みふけり、ひそかに詩人となる夢を思い描いていた少年。それが若き日の伊藤整でした。詩集『雪明りの路』を小樽で出版して上京した整は、やがて小説の道へと進んで数多くの作品を執筆。評論や翻訳、随筆、文学史研究においても、重要な仕事をなしとげました。

伊藤整の碑のある丘さ。
小樽の西の塩谷という場所にあるんだ。

ながめの良いところだね！向こうに海も見えるんだ。

POINT

作家
伊藤 整
1905～1969年
松前生まれ 小樽育ち
写真は小樽市中学校教師時代
（現・長橋中学校）

伊藤整は、生まれた翌年から上京する23歳頃までを塩谷で過ごしたんだ。この碑は、旧友たちが整との思い出をしのぶために〈ゴロダの丘〉というところに建てたものだよ。

さがして、行ってみたいな。

海の捨児（すてご）

私は浪（なみ）の音を守唄（もりうた）にして眠る
騒がしく 絶間なく
繰返して語る灰色の年老いた浪
私は涙も涸（か）れた凄愴（せいそう）なその物語りを
つぎつぎに聞かされてゐて
眠ってしまふ

私は白く崩れる浪の穂（ほ）を越えて
漂っている捨児だ
私の眺める空には
赤い夕映雲（ゆうばえぐも）が流れてゆき
そのあとへ
星くづが一面に撒（ま）きちらされる
あゝこの美しい空の下で
海は私を揺（ゆ）り上げ 揺り下げて
休むときもない

これは整が、故郷・小樽をはなれ、
東京で詩人になろうと決心した頃に書かれた詩だよ。
整は小樽にどんなイメージを持っていたのかな？

※ 上の詩から心にひびくところを書きぬいてみよう！

むずかしいけど、不思議なイメージの詩だね。

伊藤整は、文学の世界で重要な仕事をたくさんしたんだよ。
文学館の展示で、確かめてみようね。

お疲れ様でした！ 最後にまとめ！